

平成17年度 第1回福岡市中央卸売市場開設運営協議会水産物部会議事録

- 1 開催日時 平成18年1月23日(月) 10:00～
- 2 開催場所 福岡市鮮魚市場会館 第1会議室(2階)
- 3 出席者 開設運営協議会会長・開設運営協議会水産物部会委員・専門委員15名  
(別紙委員名簿参照)  
欠席: 波積委員, 田中委員(代理)  
事務局 3名

4 傍聴者 なし

5 会議内容

中央卸売市場開設運営協議会会長あいさつ, 中央卸売市場長あいさつ, 事務局から委員紹介を行った後, 議事に入る。

議題1: 副部会長の選任について

(議長) 議題1について事務局説明願います。

(事務局) 選任方法について説明, 副部会長選任決定

(議長) 事務局から一括して報告の旨説明。

報告事項1 「鮮魚市場再整備事業について」

報告事項2 「鮮魚市場震災復旧状況について」

— 資料に沿って事務局が説明 —

その他質疑応答

委員 博多漁港の岸壁については、先程の説明どおりかなりの被害を受けており、特に突堤西岸壁については船を着けられない状態にあることから、魚船の停留の際の事故防止のためにも、岸壁復旧工事の早期完了をお願いしたい。

事務局 8月いっぱいの完成を目指しているが、早期完了するよう皆様のご協力をよろしく願います。

委員 将来、中国や韓国からの輸入生鮮水産物は、かなり増加すると思われるが、現在の博多漁港の水深は、中国から大型魚船が入港した場合も対応できるのか。

事務局 現在の博多漁港の水深は、2000トンクラスの船まで対応できる水深があるが、今後の動向を見ながら対応していきたい。

委員 現在整備されている買荷積込所は屋根がつかないようになっているが、カラス等がモーターに積んでいる鮮魚をつつくことも予想される。鳥インフルエンザが問題となっている状況の中、市民への食の安全・安心の確保という観点から、現在整備されている買荷積込所を屋根付き（一部でも結構）にして貰えないか。

事務局 以前から、そのようなご意見は聞いていたが、まずは買荷積込所を整備した後、利用状況を踏まえ、また予算の問題、業界の負担割合等クリアしなければならない問題が多々ある中で、今後慎重に検討していきたい。

委員 仲卸売場の災害復旧工事については、開設者に於いて昨年の盆と年末年始の休場日に、休み返上で行って頂き礼を述べる。また、市民への食の安全・安心の確保という点では、場内での着帽、禁煙の徹底について、業界の皆さんのご理解とご協力をよろしく願いたい。

委員 買荷積込所を屋根付きにしたいという意見が出たが、もう少し詳しく聞きたい。

事務局

現在の立体駐車場 1 階の買荷積込所には、ご存じの通り当然屋根が付いているが、整備中の買荷積込所には現在屋根を付ける計画はなく、付けて欲しいというものである。

委員

雨が降った場合、仲卸がモトラにシートをかぶせずに買荷積込所まで運ぶならば、魚は濡れてしまい鮮度が落ちて売れなくなってしまうなど、小売業者としては非常にリスクが大きい。せめて通路だけでも屋根付きにしてもらえないだろうか。

委員

新買荷積込所の通路に屋根が必要だと言うことは理解できたので、開設者は屋根の設置について業界とよく検討するべきである。また、場内での禁煙及び着帽についても、市民への食の安全・安心の確保という観点からルールを守って清潔で安全な市場となるよう努めるべきだ。

議長

着帽、禁煙については、市場協会の中で市場内のルールとして決められていることであることから、協会をよく議論し、今後遵守するよう皆さんのご協力をよろしく願います。

委員

消費者の立場からも、食の安全・安心を重視して頂き、喫煙や雨よけの件、よろしくご検討頂くようお願いする。

委員

出荷仲卸組合のモトラ置き場にも屋根をつくって欲しい。モトラの耐用年数から見ると、屋根の下にモトラを置くかと否かでは、雲泥の差がある。

議長

買荷積込所のモトラ通路屋根と併せ、その必要性は認めるが、設置するに当たっては受益者負担ということになり、各社の負担も増えるということになる。また、仲卸業者がモトラで配達する時間帯は、おおよそ 3 時間程度であることから、今後費用対効果等を含め検討すべきである。

委員

仲卸のモトラ利用時間帯は、実質朝 4 時から 6 時までの約 2 時間であり、雨天時の 2 時間のために多額の費用を掛けて屋根を設置するか、安全・安心を優先させるかよ～く考えるべきである。

事務局 災害復旧工事については、ご迷惑をおかけするが今後ともご理解ご協力をよろしくお願いする。

委員 西卸売場棟と仲卸売場の間の通路は、出荷業者の車両や発泡スチロールでいっぱいでは通行できない。どうにかして欲しい。

委員 当初、出荷仲卸の立替場所ができるようになっていたが、適当な場所もなく予算も都合がつかなかったのか、建設できなかったために、やむを得ない状況にある。

委員 西卸売場のバースは立替場所として使われており、出荷のための駐車場は、別途あるはずだからそこを利用して欲しい。

委員 モートルの天然ガス化については、費用面の問題はあると思うが、開設者は環境面、健康面から見て今後よく研究し、早く導入すべきではないか。

委員 モートルの天然ガス化について反対しているのは、出荷組合である。環境面について言うならば、場内にはモートルの他、大型トラックなどが多数出入しているわけであり、それらを閉め出すわけにはいかない。我々にとっては、天然ガス化にすれば、費用が掛かるわけであって、リスクが大きくなる。

委員 色々事情はあるだろうが、環境問題について業界もご検討頂きたい。

委員 消費者の立場からお聞きするが、雨の降り掛かった魚の見分け方を教えて欲しい。

委員 真っ白になる。

議長 現在、鮮魚市場で雨が魚に降り掛かって問題となっているわけではないので、勘違いしないようにお願いします。現在、整備を進めている買荷積込所が完成した際の問題点として、本日議論したところであるのでご理解願いたい。

事務局 資料として、平成17年の当市場の取扱状況と近隣市場及び全国主要産地の取扱状況をつけているのでご覧いただきたい。

閉会